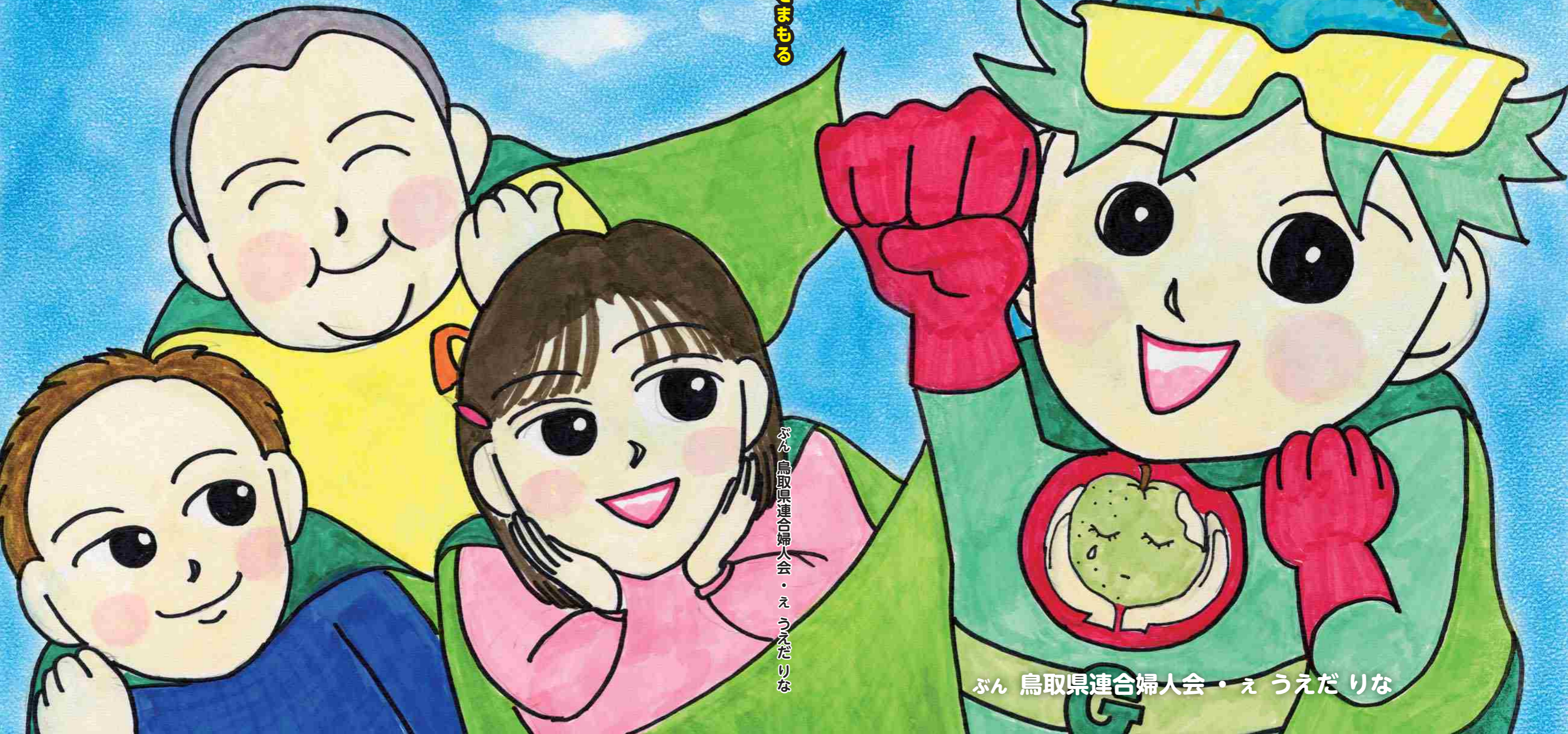


グリーンマンと ちきゅうをまもる

グリーンマンとちきゅうをまもる



ぶん 鳥取県連合婦人会・えうえだりな

ぶん 鳥取県連合婦人会・えうえだりな

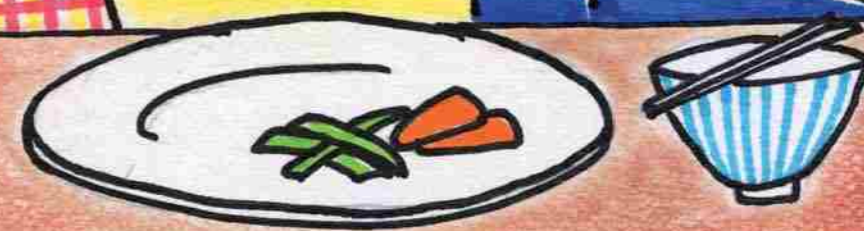
グリーンマンと ちきゅうをまもる

ぶん 鳥取県連合婦人会・え うえだりな

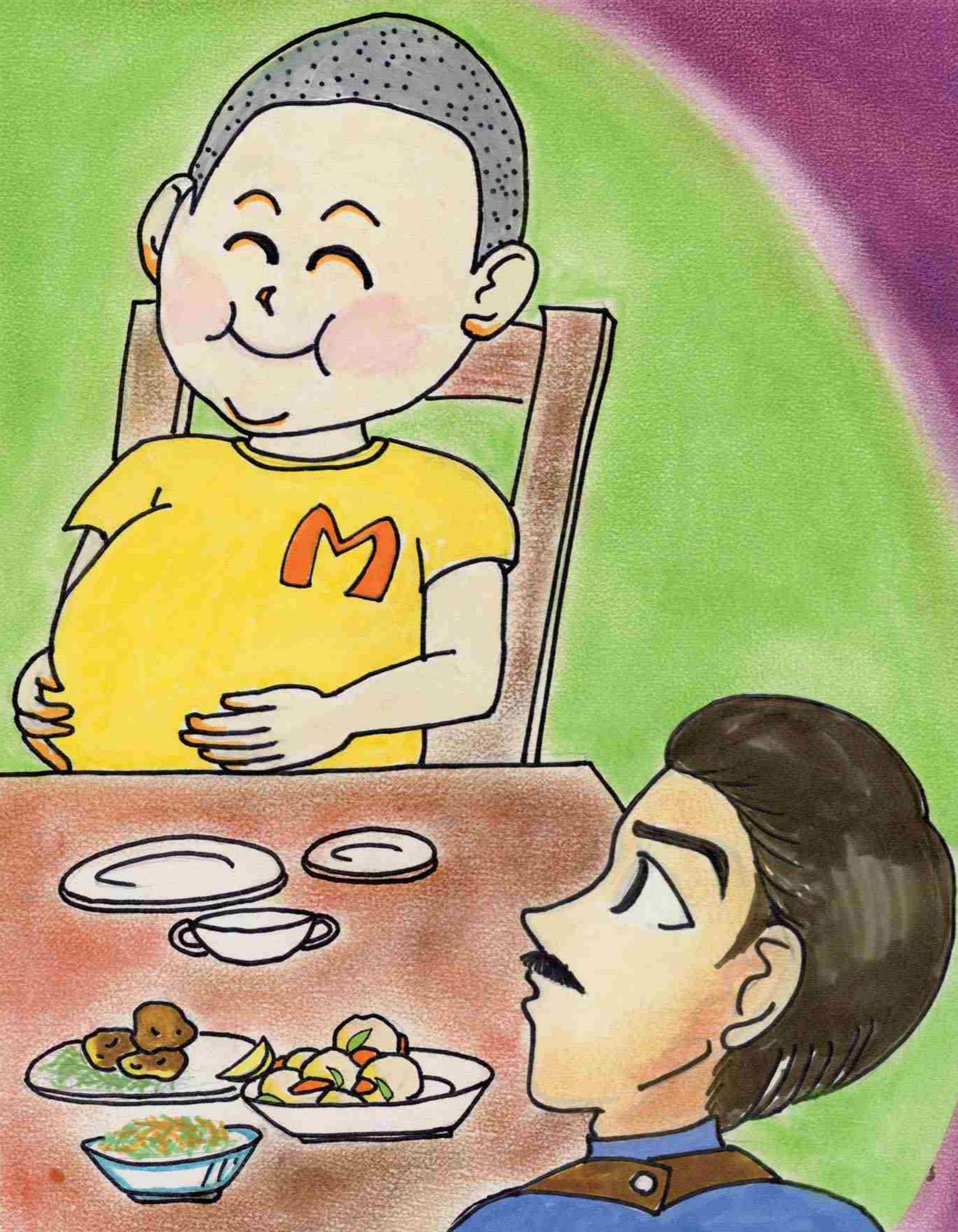


「ぼくはちきゅうをまもるグリーンマン。
さあ、きょうもパトロールにでかけよう！」
すると、どこからかこえがします。

「あらあら、
おやさいばかりのこして、
もったいないねえ」



「ピーマン、にがいから たべたくない」
「にんじんの におい だいきらい」



こちらからも こえがします。

「もう、おなかいっぱい！ごちそうさま」

「もういいのか？

たくさん たべないと おおきく ならないぞ。
おやつを たべすぎたんだろう？」

「そんなこと ないもん」

「あ～あ、つくりすぎたかなあ」



あちらからも きこえてきます。

「おかあさん、このおとうふ
においが へんだよ」

「あら、ごめんなさい。
うりだしで たくさん かったから、
たべきれないまま、
れいぞうこで くさっちゃったのね
もったいなかったわね」



グリーンマンが こどもたちによびかけました。

「みんな、ぼくといっしょに
ちきゅうの**パトロール**にいかないかい」

「いきたい！」

「おもしろそうだから、つれてって」

「でも、わたしたち そらをとべないよ」

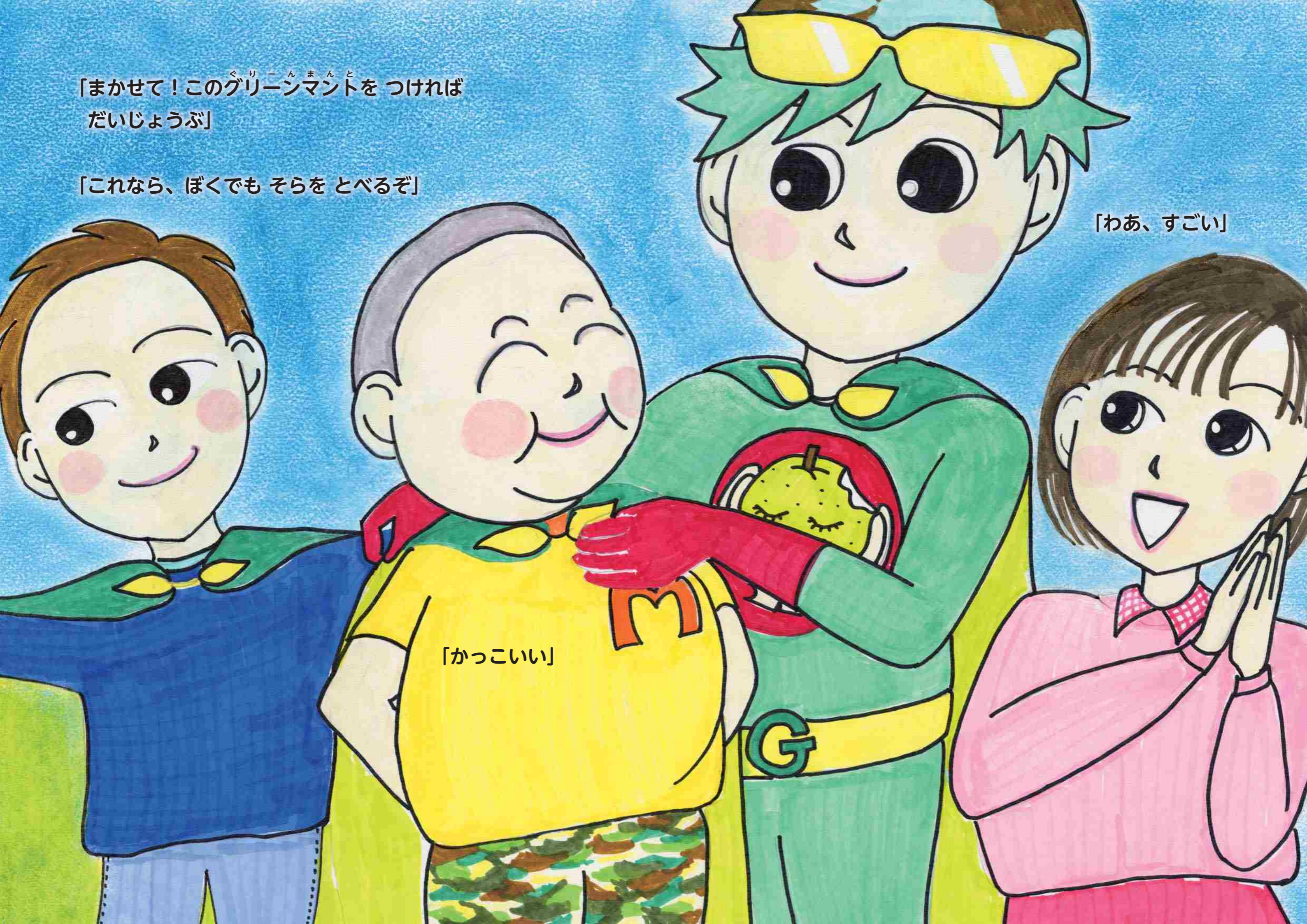


「まかせて！このグリーンマントをつければ
だいじょうぶ」

「これなら、ぼくでも そらをとべるぞ」

「わあ、すごい」

「かっこいい」





「ここはみんなのいえからでたごみを
しよりする こうじょうだよ」

「あっ、ごみのなかに
まだたべられそうなものがいっぱいある」

「やさいさんたちも ないているよ」

「みんな、してる？
たべられるのに すてられてしまう たべもののことを
“しょくひんロス”^{ろす}っていうんだよ。
にほんでは、それが いちにちに ^{いちまんなせん とん}17000トン くらい
あるんだよ」

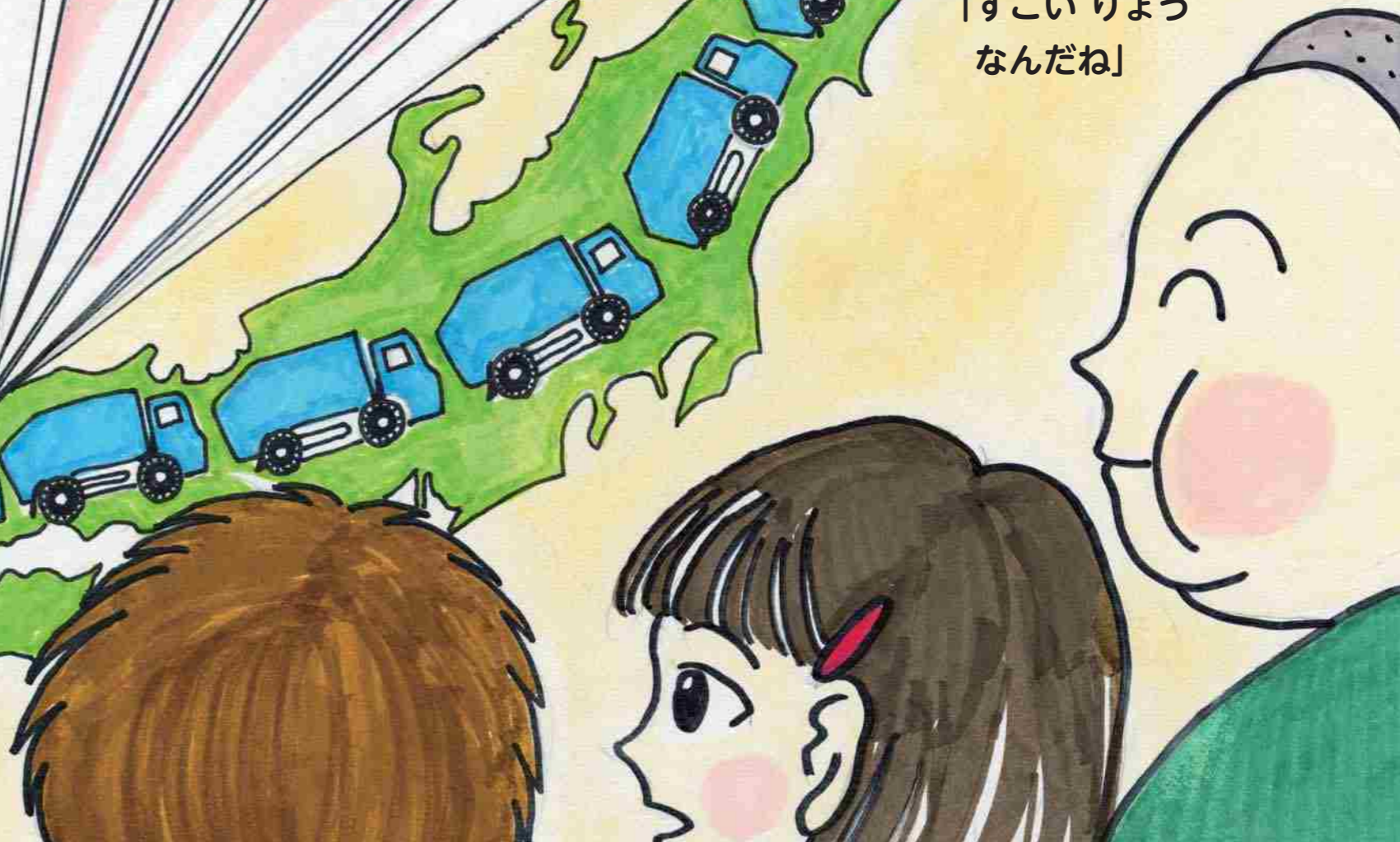
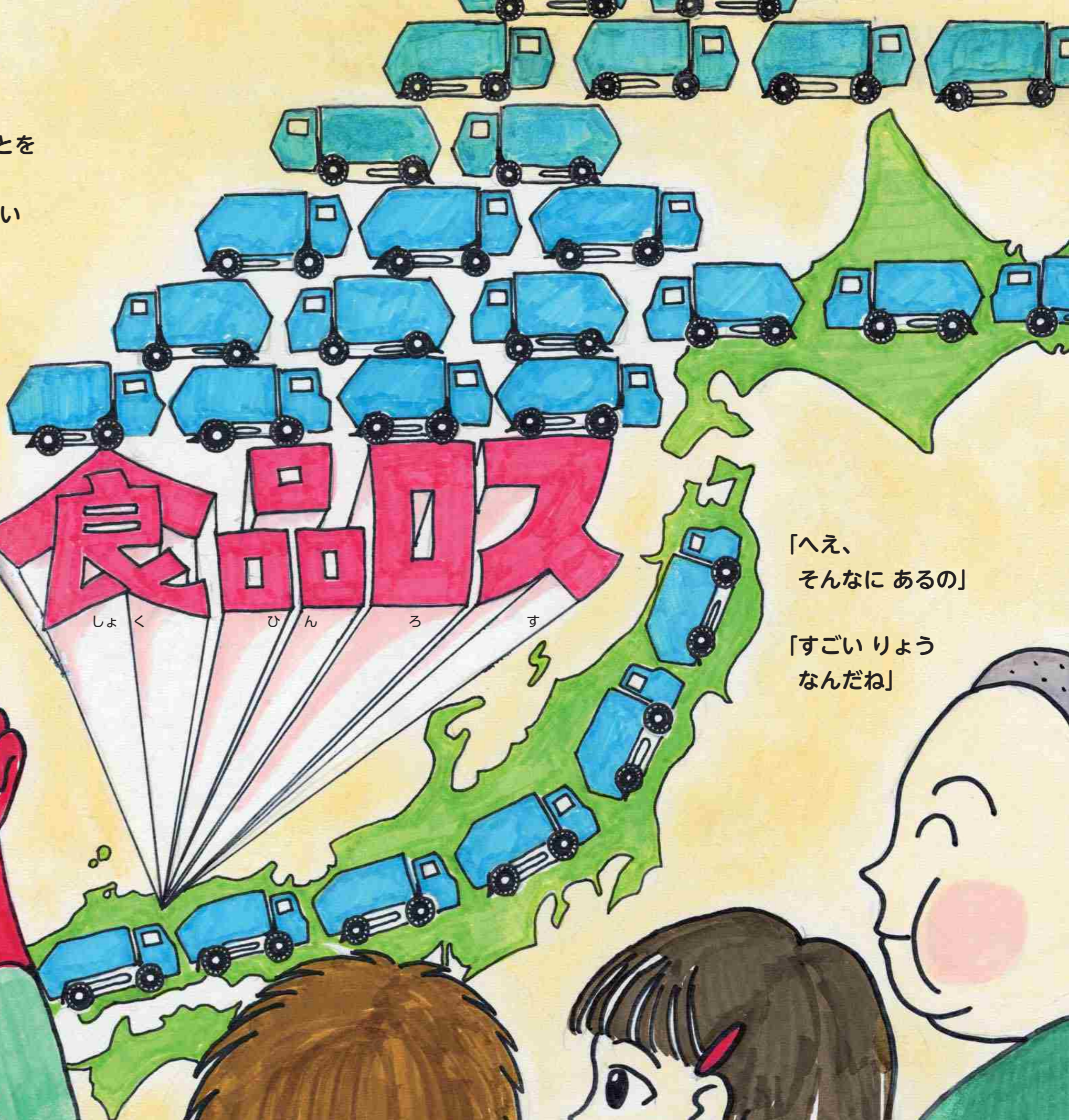
^{いちまんなせん とん}
「17000トンってどのくらい？」

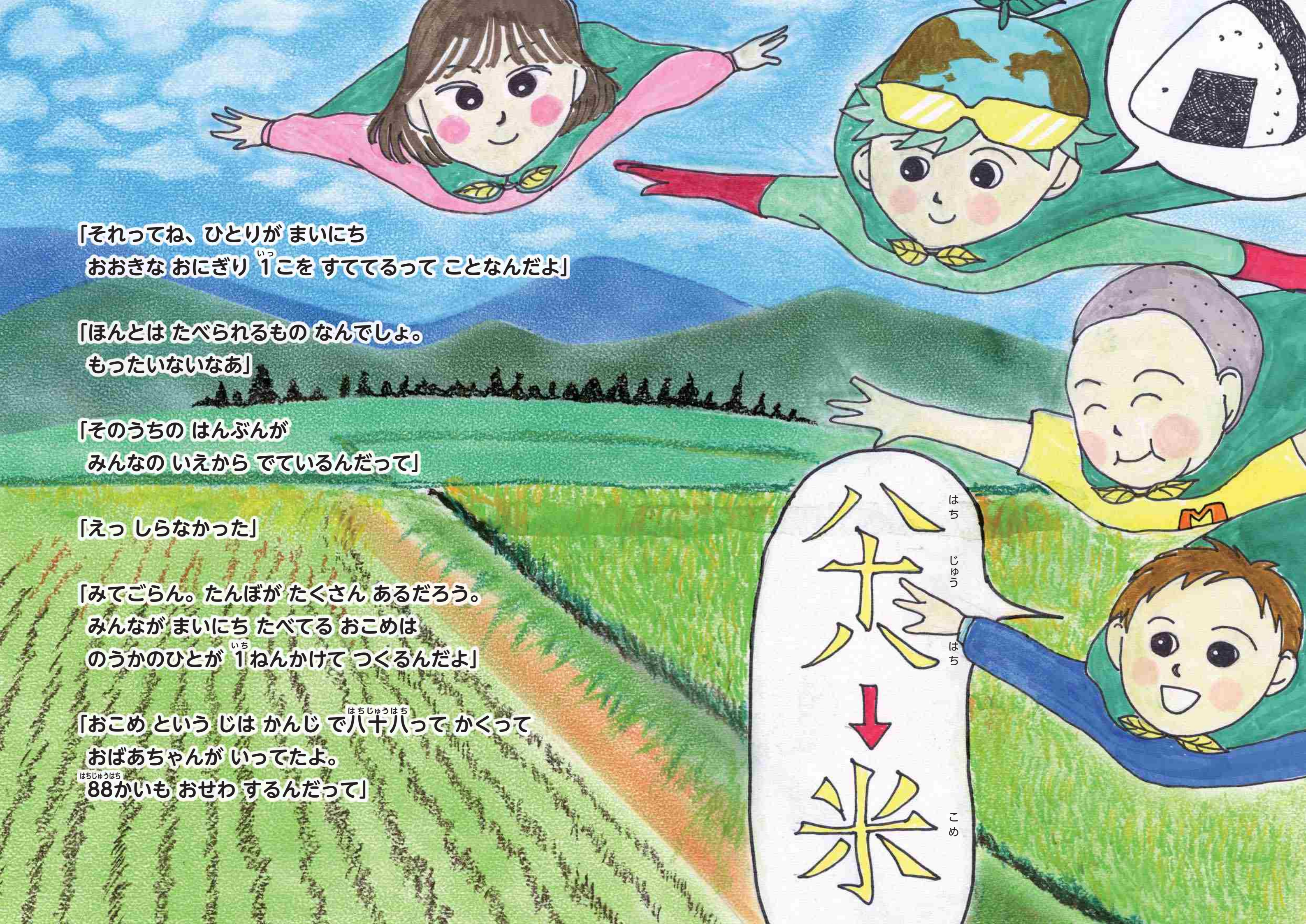
^{はっせんごひゃく}
「8500だいの ごみしゅうしゅうしゃで
まいにち、まいにち はこぶくらいの
りょうだよ」

食品ロス

しょく ひん ろす

「へえ、
そんなにあるの」
「すごいりょう
なんだね」





「それってね、ひとりがまいにち
おおきな おにぎり^{いっ}1こを すててるって ことなんだよ」

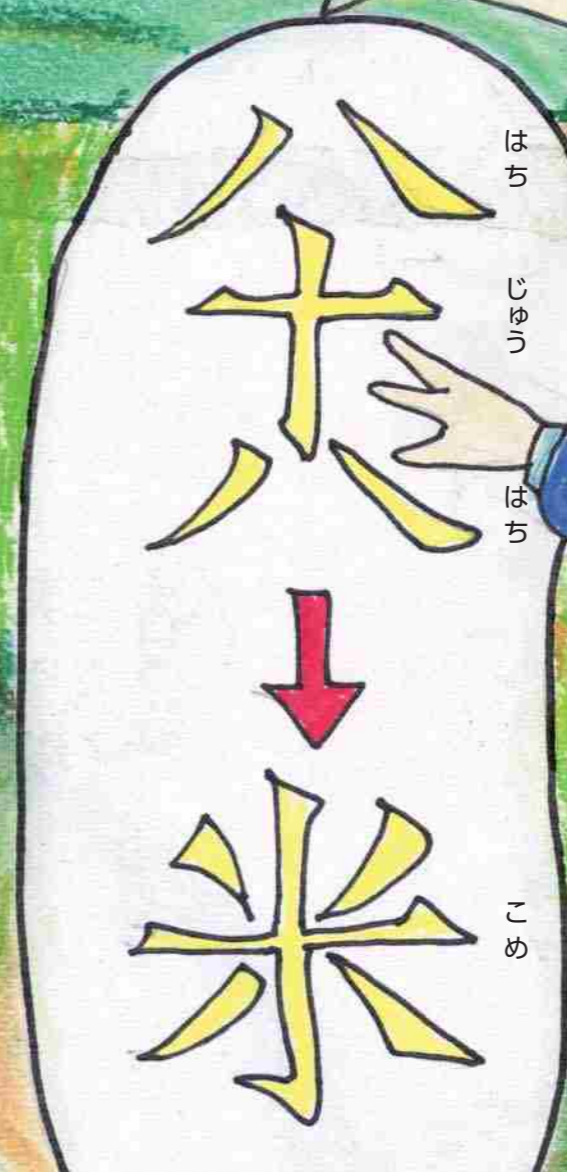
「ほんとは たべられるもの なんですよ。
もったいないなあ」

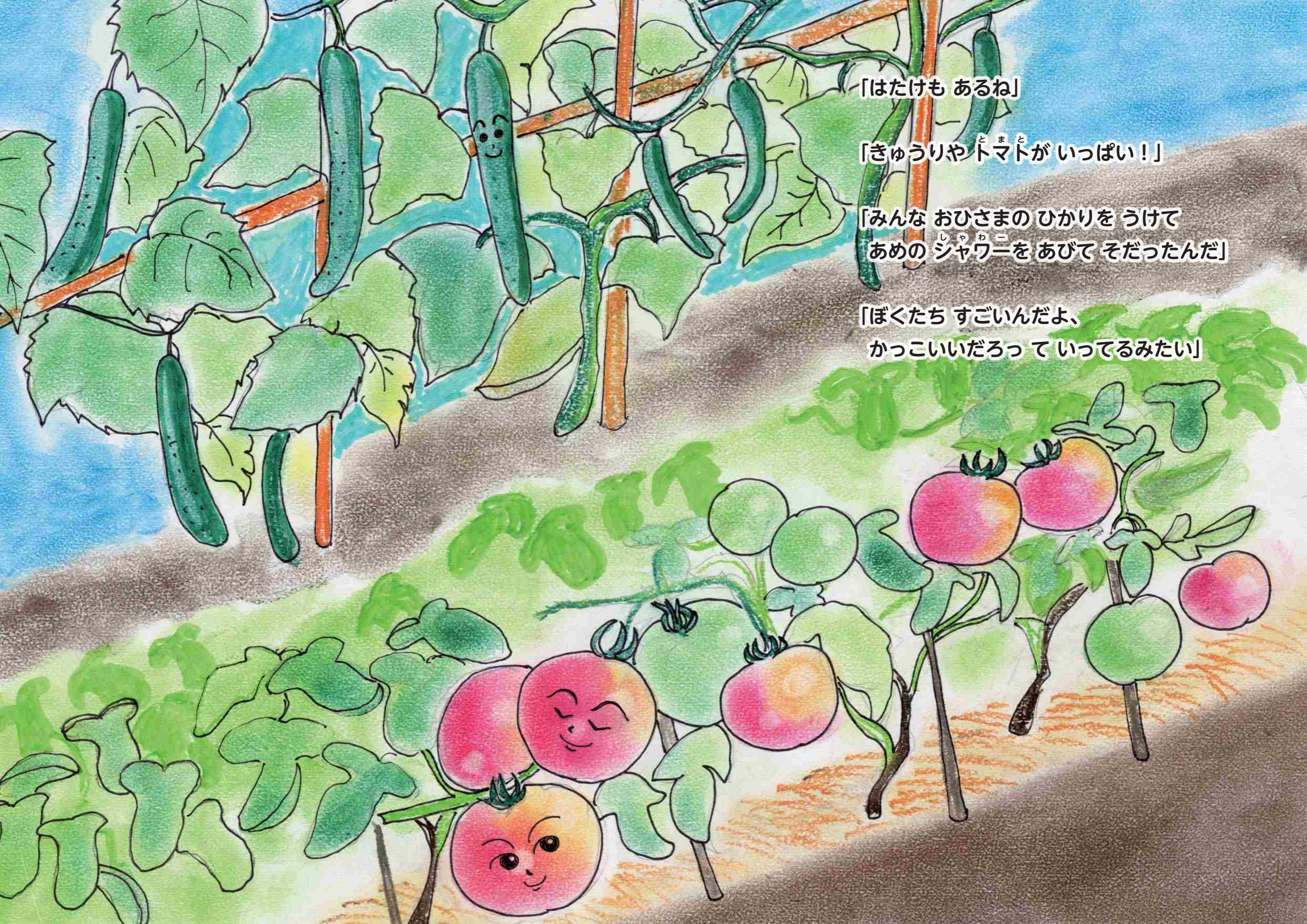
「そのうちの はんぶんが
みんなの いえから でているんだって」

「えっ しらなかった」

「みてごらん。たんぼが たくさん あるだろう。
みんなが まいにち たべてる おこめは
のうかのひとが^{いち}1ねんかけて つくるんだよ」

「おこめ という じは かんじ で^{はちじゅうはち}八十八って かくって
おばあちゃんが いったよ。
^{はちじゅうはち}88かいも おせわ するんだって」





「はたけも あるね」

「きゅうりや^{とまと}トマトが いっぱい！」

「みんな おひさまの ひかりを うけて
あめの^{しやわー}シャワーを あびて そだったんだ」

「ぼくたち すごいんだよ、
かっこいいだろって いってるみたい」



「よし、こんどはもっととおくにいってみよう」

「あっ、ないている こがいるよ」

「すごく やせてる」

「おなかを すかせている みたい」

「たべるものがないのかなあ」

「せかいでは
たべものやのみみずがなくて
しんでしまう こどもがたくさん いるんだよ」

「かわいそう。
にほんには たべるものが いっぱい あるのに」



「にほんじんが
^{いち}1 にちに すてる たべもので
なんにんもの こどもが たすかるんだよ」

「どうして たべものを
そんなに すてるんだらう？」

「そうだね。
たべられるのが あたりまえって
おもっているから、
かいすぎたり、たべきれないで
すてても へいき なんだらうね」

「ぼくたちの たべものを
わけて あげたいな」



「ぼくは ^{びーまん}ピーマンや にんじんものこさないで たべるよ」
「わたしも “ありがとう” って かんしゃして
たべるようにするわ」

「すべての たべものに いのちが あって、
その いのちを いただくのだから、
“いただきます” って いうんだよ」

「たくさん かったり、 つくりすぎないように
おかあさんにも おねがいしよう！」

「みんなで きょうりょくして たべものを たいせつに、
“もったいない” を ひろめて いこうね」

「うん、 よく わかったよ ^{ぐりーんまん}グリーンマン」



「たべものを すてないことが
ちきゅうを まもることにつながる。
そして、せかいの ひとたちの いのちを
たすけることにも なるんだ」

「^{ぐりーんまん}グリーンマン、
しょくひん^{ろす}ロスのこと
おしえてくれて ありがとう！」

保護者の皆様へ

鳥取県循環型社会推進課からのお知らせ

鳥取県の家庭から出る「燃やすごみ」のうち、約半分が「生ごみ」で、そのうち約4割が、まだ食べることができる「食品」です。(これを“食品ロス”と言います)

日本は食料自給率が低く、食料を海外からの輸入に大きく依存している中で、毎日大量の食品ロスが発生しています。一方、世界でも、人口が急増し、深刻な飢えや栄養不足の問題が存在する中で、大量の食品が廃棄されているのが現状であり、解決すべき問題として真摯な取り組みが求められています。

食品ロス問題は、一人ひとりの日頃の習慣や意識付けにより、解決に近づきます。

食品ロスを減らすために、日々の生活を見直してみましょう！



今日からできる、食べきり10アクション

★買い物では

- 1 食品を買いすぎない（買い物前に冷蔵庫のチェックを！）
- 2 ばら売り、量り売りなどを利用（無駄なく必要な分だけ購入を！）
- 3 賞味期限や消費期限の残り期間が短いものを選んで早めに使い切る

★料理では

- 4 週に1回は「冷蔵庫一掃デー」（消費・賞味期限が近い食品を使い切り！）
- 5 作りすぎない（食べられる適量を！）
- 6 捨てていた野菜の皮や残った食品を他の料理に利用
（食品を使い切り！クックパッドの「消費者庁のキッチン」がおすすめ）

★食事では

- 7 残さず食べる（好き嫌いをなく！）
- 8 早めに食べる（残った料理は適切に保存を！）
- 9 外食では食べられる量を注文（小盛りメニューの利用や宴会での食べきり呼びかけ！）

★それでも出てしまう食品ロスは

- 10 段ボール堆肥や生ごみ処理機で堆肥化して利用
（とっとり流生ごみコンポスト実践マニュアルを参考に！）



クックパッド
「消費者庁のキッチン」



とっとり流
生ごみコンポスト実践マニュアル

鳥取県連合婦人会によるアンケート結果

鳥取県連合婦人会では、2017年より4年間、こども園などに出向き「食べ物を大切にす
るもったいないの心」「ゴミを減らそうとする気持ち」を育むよう、紙芝居や寸劇などで啓
発活動をしています。そこで、家庭での子どもたちの食生活の様子を知り、今後の活動に活
かすために、一部の地域でしたが3歳～5歳迄の家庭を対象にアンケートをとりました。

(370件中回収率 83.3%)

アンケートの内容

1. 朝食を食べていますか？ ・毎日食べている家庭が100%でした。
2. 誰と食べていますか？ ・ほとんどが家族と一緒に食べています。
3. 朝食にどんなものを食べていますか？
・ごはん、味噌汁、パン、スープ、卵、ウインナー、果物などが多かったです。

4. 3で記入したものについて、1回の食事でのどの位食べていますか？

①：出されたもの全部	51%
②：出されたものの3分の2	30%
③：出されたものの半分	13%
④：出されたものの3分の1	3%
⑤：好きなものだけ	3%



5. 残した食品について

①：捨てる	18%
②：家族が食べる	75%
③：その他	7%（次の食事の時など）

6. 「いただきます」「ごちそうさま」など、食べ物に対する感謝の気持ちを言葉 で表したり、家庭で話をしていますか？

- ①：はい 92%
 - ②：いいえ 8%
- ・子どもから食べものについて「これはどうやってできるの？」など聞いてくることも
あるので、「大切な命をたくさんの方が育てているんだよ」などと話をします。
・家庭で話はしているが「いただきます」などの挨拶は定着していません。

※アンケートの結果、食べ物に対する感謝の気持ちは育っている一方、まだ食べ残しが捨て
られている状況も見られます。楽しくおいしく食べて、心の豊かさを大切に、地球環境に
配慮した活動を今後も継続し、全県に広まることを願っています。

